

# kanagawa ARTS PRESS

神奈川芸術プレス Vol.148

6 | 7  
2019



CREATOR'S VOICE 167  
加藤のぞみ  
神奈川県民ホール・オペラ・シリーズ2019「カルメン」

神奈川県立音楽堂リニューアルオープン&オープンシアター2019  
みんなでたのしむオペラ「ヘンゼルとグレーテル」県内出張公演  
「チャレンジ・オブ・ザ・シルバー」始動! — 共生共創事業

隔月刊:奇数月15日発行

カルメンは以前から一番歌いたかった夢の役。自由奔放な生き方に憧れます。日本とヨーロッパでの経験を踏まえて、自分なりのカルメンが演じられたら。

# 神奈川県民ホール・オペラ・シリーズ 2019 ビゼー作曲 オペラ「カルメン」

神奈川県民ホール

## 加藤のぞみ

メゾソプラノ



10月に神奈川県民ホールで上演されるオペラ「カルメン」に主演する加藤のぞみ。神奈川県出身で、現在はスペインを拠点に目覚ましい活躍を見せる。「以前から一番歌いたかった夢の役」という本役への思いを聞いた。

——カルメン役に決まった時にどう思われましたか？

とても嬉しかったです。今回は私にとってこの役のデビューにあたり、誰でも知っている有名なオペラですから不安もあります。カルメンは私にとって夢の役なので喜びの方が大きかったです。

——やはりメゾソプラノの方にとって「カルメン」は一番の憧れなんでしょうか？

以前から一番歌いたかった役です。東京藝術大学大学院のオペラ科を卒業する時も、修士演奏に「カルメン」を選びました。私がかつとも惹かれるのはカルメンのキャラクターです。自由奔放な生き方にごく憧れます。音楽も魅力的ですが、

やはりカルメンという役柄が素晴らしいと思うのです。

——カルメン役をどのように演じたいと思いますか？ 音楽的な聴きどころも教えてください。

役作りという意味ではこれから指揮者、演出家とコミュニケーションをとる段階ですので、また具体的には分かりませんが、今まで日本とヨーロッパで積んできた経験を踏まえて、自分なりのカルメンが演じられたらと思っています。音楽的な聴きどころは全てですね。その中でもっとも重要なのは、終幕のカルメンの死の場面だと思います。ドン・ホセの要求に屈するくらいなら死を選ぶというのは、私だったらできないなと思うのですが、そこで逃げないのがカルメンの凄さです。

**ヨーロッパでのチャンスと学び**

——加藤さんは現在、スペインのバレンシアにお住まいですが、スペインを舞台

加藤のぞみ Nozomi Kato

神奈川県出身。東京藝術大学卒業（安宅賞、松田トシ賞、アカンサス賞、同声会賞）、同大学院首席修了（アカンサス賞、武藤舞奨学金）。明治安田クオリティオブライフ文化財団助成により渡伊、その後バレンシア歌劇場にて研修。2015年「リゴレット」マッダレーナで二期会デビュー。これまで欧州各地の劇場で「蝶々夫人」「コジ・ファン・トゥッテ」「ノルマ」等に出演。バレンシア在住。二期会会員。





「ノルマ」アダルジーザ役 2018年スペイン・ビルバオにて ABAO-OLBE. Norma 2018 ©E. Moreno Esquibel

にしたオペラは多いですね。「カルメン」はセヴィリアを中心とした物語です。

セヴィリアは訪れたことがあるだけです。闘牛場の前の広場にはカルメンの銅像が立っているんですよ！ アンダルシア地方はフラメンコの一番有名な土地なので、セヴィリアにもフラメンコのバールがたくさんあります。街角には歌を歌っている人やギターを片手に歌う人を普通に見かけます。そしてバレンシアもそうですが、スペインの氣候で、太陽が日本とは違うのです。肌にジリジリ来る強さがあります。

——加藤さんがバルマ在住だった2015年に、東京二期会「リゴレット」公演でマツダレーナ役を聴かせていただき、またイタリアでのご活躍も動画などで拝見していますが、加藤さんは歌が端正なだけでなく、役になり切る演技が素晴らしいと思います。役作りの秘訣を教えてくださいませんか？

役を演じることは昔から興味がありました。自分ではない誰かになることに惹かれるのです。私はカフェに行くのが大好きで、楽譜を読んだりしながら、その合間にカフェにいる人たちを観察していると何時間でも座っていられます。例えば、男性の役を演じる時には、お客さんや、一緒にカフェに行った男友達たちの動作

をつぶさに観察することも笑。ヨーロッパでは本場に色々な人がいるので、歩き方にせよ、話し方にせよ、そういう人たちを見ているのが役作りになるのかも知れません。それからバレンシア歌劇場の研修所時代に俳優を招いてのマスタークラスがありました。そこで男性と女性、年齢と体型による動きの違いなどを教わったのも役に立っていると思います。

——バレンシア歌劇場の研修所(若手歌手育成プログラム)はヨーロッパで人気が高く、加藤さんは日本人で初めて合格して2年間研鑽を積まれました。歌劇場の本公演にも出演されたのですか？

はい。研修所のオペラ公演以外に、オーディションに受ければ本公演にも出演できました。私は、研修所在籍中にプリテン「真夏の夜の夢」、修了後には「蝶々夫人」「月の世界」「皇帝テイトの慈悲」に出演しています。カヴァー歌手としても「ウェルテル」のシャルロット役などを勉強しました。スペインでは他にビルバオで「ノルマ」のアダルジーザを歌い、今後オビエードの蝶々夫人に出演が決まっています。3月末には研修所の設立10周年記念コンサートがあり、これまで学んだ歌手の中から代表4人に選ばれ、ブラシド・ドミンゴ指揮のガラ・コンサートに出演しました。

## 神奈川県民ホール・オペラ・シリーズ 2019 グランドオペラ共同制作 ビゼー作曲 オペラ「カルメン」全4幕

フランス語上演・日本語及び英語字幕付き/新制作

2019年10月19日(土)・20日(日) 各日14:00 神奈川県民ホール (大ホール)

指揮:ジャン・レイサム=ケーニック 演出:田尾下 哲

出演(19日/20日)

カルメン:加藤のぞみ/アグンダ・クラエウ ドン・ホセ:福井 敬/城 宏憲

エスカミリーヨ:今井俊輔/与那城 敬 ミカエラ:高橋絵理/嘉日真木子 フラスキータ:清野友香莉/青木エマ

メルセデス:小泉詠子/富岡明子 モラレス:近藤 圭/榎 貴志 スニガ:齊木健詞/大塚博章

ダンカイロ:大沼 徹/加藤宏隆 レメンダード:大川信之/村上公太

合唱:二期会合唱団 児童合唱:赤い靴ジュニアコーラス 管弦楽:神奈川フィルハーモニー管弦楽団

全席指定 S 16000円 A 13000円 B 9000円 C 7000円 D 5000円 E 3000円 学生(24歳以下・枚数限定) 2000円

www.artspress.jp

WEB  
+a!

このマークの記事  
にはWEB版だけの  
+αコンテンツも!

——スペインに加えてイタリアでのご活躍も多いですね。ごく最近ではトリエステ劇場場で歌われた「清教徒」エンリケッタ、そしてモテナ劇場、バルマ王立劇場他で歌われた「アンドレア・シエニエ」ベルシも現地で高い評価を受けました。

トリエステ劇場場の「清教徒」は急な代役だったんです。この役は以前レジヨ・エミリアアで歌ったことがありました。初日の一週間前に連絡が来て、次の日にはトリエステに飛んでいました。

「アンドレア・シエニエ」は同じプロダクションがいくつかの劇場で上演されましたが、キャストの皆さんが素晴らしいんですけど印象に残っています。特にその中の何公演かでマッターナ役を歌ったサイオア・エルナンデス(スペイン出身のソプラノ。今シーズンのスカラ座開幕公演「アッティラ」にも主演)が本当に素晴らしい。もちろん歌手としてもですが、人柄も良く、この出会いは私にとって忘れられないものとなりました。彼女がどのように本番まで役を作り上げていくかを稽古から見て、多くのことを学ばせていただきました。

**円盤投げの選手からオペラ歌手へ**

——加藤さんは神奈川県のご出身ですね。

声楽を始めたのはお母さまの影響があったとか?

はい。私は秦野市出身で、家からは丹沢の山々が見え自然にあふれる良い所です。水がとても美味しいんですよ。母は音楽大学で声楽を学んだソプラノです。母の影響は大きかったと思います。物心がついた時から音楽はすぐそばにありました。母がピアノを教えていたので、私もその影響でピアノを小さい頃から習っていました。

——声楽を本格的に始めたのはいつでしたか?

高校二年生の時です。高校生の時にはスポーツに打ち込んでいました。円盤投げの選手でインターハイに出場したんです。高校時代はまず第一に部活で、朝から晩まで円盤を投げていました(笑)。でも進路を考える時期になり、陸上で生きているということでは考えられませんでしたから、歌が好きだし本格的に先生に習ってみよう。それで三年生の時にインターハイが終わって引退してすぐに、大分県で開催された滝廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクールに神奈川県代表で出場し、まさか自分で思ってもいなかった優勝を頂いたので。そこから本格的に藝大を目指すようになりました。

取材・文:井内美香

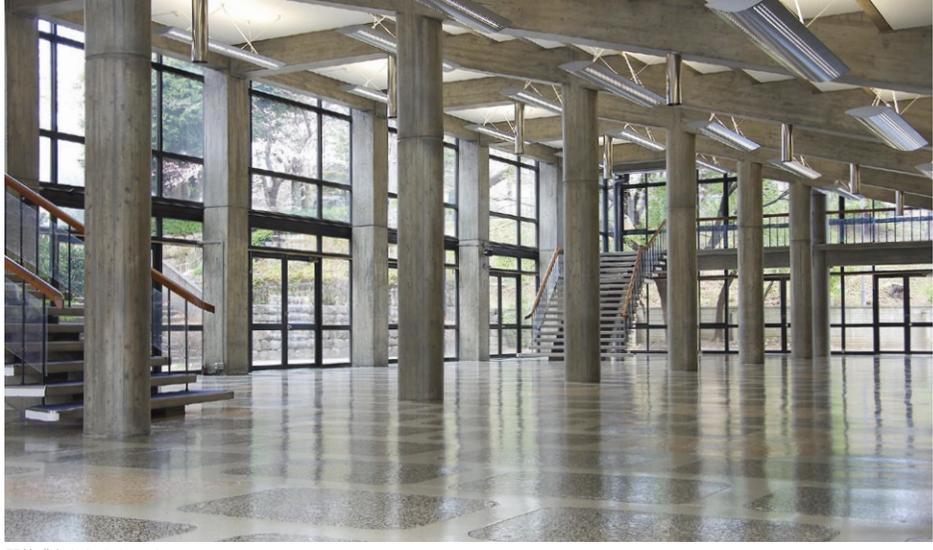
### my hall myself

#### 私にとっての神奈川県民ホール

今回が神奈川県民ホールへのデビューとなります。私は秦野市の出身ですが、音大生の頃は片道2時間半もかけて上野にある大学に通う日々で、県民ホールに親しむ機会もなかなかありませんでした。今回、ドン・ホセ役の福井敬さんを始めとする素晴らしい共演者の方々とこのホールに出演し、神奈川県民の皆さまに観ていただける機会に恵まれて本当に嬉しく思っています。

——オペラはアスリートなみに体力が必要ですし、スポーツに打ち込んでいたところが役に立っているのかもしれないですね。最後にこれからどのような活動をしていきたいか教えてください。

これまでイタリアとスペインを中心に演奏活動をしてきましたが、これからはもう少し視野を広げて、ドイツやフランスなどを含めヨーロッパで活躍できる歌手になれればと思っています。また、今回の「カルメン」をはじめとして、日本でも活動の機会が増えれば嬉しいです。

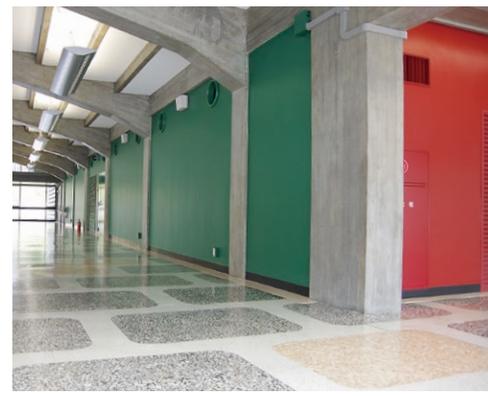


開放感あふれるホワイエ

# 神奈川県立音楽堂 リニューアルオープン & オープンシアター 2019

神奈川県立音楽堂

神奈川県立音楽堂リニューアルオープン  
紅葉坂を登ると、以前と変わらず静かな佇まいを見せる神奈川県立音楽堂。正面の駐車場からホワイエを見ると、背後の掃部山公園まで見通せ、外部と内部が自然な一体感をもも出していきます。柱、梁、壁といった構造体の上にかぶせる・飾ることをしない潔さが、軽やかでゆったりとした空間を創出しています。65年前に造られた、質素でありながら豊かさを感じられるこの空間は、ここに集う人々のための気負いのない空間であり、これこそが前川國男が目指したものかもしれません。90年代に一度は取り壊しの危機を迎えた音楽堂ですが、多くの人々の支持により開館当時の姿のまま使われてきました。そして、これからも愛され使い続けられるホールとして存続するため、1年にわたる改修工事を終



65年前の色を再現した壁

え、いよいよ6月1日「オープンシアター2019」で再び開館します！

オープンシアター2019  
音楽堂で音・体験・建築・探険！

まずは、いつもは入れない場所も巡れる建築ラリーや大人向けの建築ツアーで、館内をぐるっとまわってみましょう。正面玄関の黄色扉、高揚感を感じる赤壁、そして外の風景へとつながるホワイエの緑壁は開館当時の色が鮮やかに再現されました。65年前に同時開館した隣接の図書館と一体感を感じられるペランダのホローブリック（穴あきブロック）は、新たに信楽焼で焼いて修復されています。オープンシアターではこのホローブリックを積む体験コーナーを用意しました。ホローブリックの重さや感触を感じた後は3階屋上で実物をご覧ください



信楽焼のホローブリック

## 神奈川県立音楽堂 オープンシアター 2019 2019年6月1日(土)

●建築ミニ講座①(大人向け) 10:40~11:25 〈ホール〉

「民主主義の建築とまちの音楽ホール」

講師:藤原徹平(横浜国立大学大学院Y-GSA准教授)

●建築ミニ講座②(大人向け) 13:35~14:20 〈ホール〉

「神奈川県立音楽堂を語る」

講師:橋本 功(前川建築事務所所長)

●「?!」何が起るかな?

①11:40~11:55 ②15:05~15:20 〈ホワイエ〉

●コンサート ①11:55~12:35 ②15:20~16:00 〈ホール〉

ピアノ:定方美香 田中愛実 浜野与志男 三浦コウ

フルート:橋原いちご 振付・ダンス:Cユタツヤ ダンス:東川歩未 他

●音楽ワークショップ「ゆる糸の部屋」〈リハーサル室〉

①10:40~11:00 ②12:30~12:50 ③13:30~13:50 ④14:40~15:00

講師:山本和智(作曲家) 鈴木モモ(ストリングラフィ奏者)

●音楽堂まるごと探検♪(建築シールラリー)

10:30~16:00 〈音楽館内〉

●建築ツアー (大人向け)

①12:45~13:15 ②14:30~15:00 〈音楽館内〉

●音楽堂建築ワークショップ 10:30~16:00 〈ホワイエ〉

①音楽堂を彩るテラゾーの仕組みを知り、磨いてみよう

②ホローブリック(穴あきレンガ)を積んでみよう

### 始まります! 前川建築見学ツアー in 音楽堂

リニューアルを機に音楽堂の魅力伝えるガイド付きの

「建築見学ツアー」を始めます!

事前のお申込みが必要なツアーもありますので、詳細は

音楽堂HPをご覧ください。(協力:bridge)



定方美香(ピアノ)



田中愛実(ピアノ)



浜野与志男(ピアノ)



三浦コウ(ピアノ)



橋原いちご(フルート)



Cユタツヤ(ダンサー・振付家)



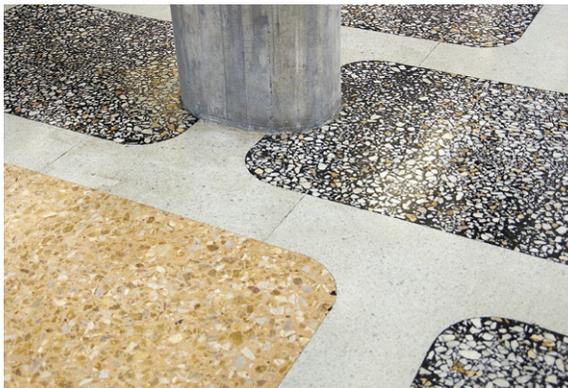
東川歩未(ダンス)



山本和智 ©Jorgen Axelvall



鈴木モモ(ストリングラフィ)



今では貴重なテラゾー

い。LED化された優しい光がひろがる  
ホワイエでは、洗浄後から8工程の作業  
を重ねた楕円の柱が以前にも増して美し  
い木目をコンクリートに映しています。  
今は仕立てられることがほほえない手造り  
のテラゾー(床)も見どころのひとつで  
すが、テラゾーの製造工程を知り、磨く  
体験コーナーも予定しています。ホワイ  
エでは他にも秘密の企画(?)が開催され  
ます。どうぞお楽しみに! また、今回  
改修工事を担った前川建築設計事務所所  
長・橋本功氏、そして横浜国立大学の藤  
原徹平氏の建築ミニ講座では前川建築の  
魅力も紹介します。

木目が美しいホール内部の壁面



さて、音楽堂の魅力のひとつに開館時  
より「東洋一の響き」と絶賛された響きの  
良さがありません。ホール内壁面は木で囲  
まれ、まるでヴァイオリンのように豊か  
に響きます。木は乾燥具合により振動が  
変化して響きに影響が出るため、今回の  
修理では文化財建造物を修復する技術保  
有者が、傷んだ木の表面を削り象嵌する  
など古い木を活かし、響きを変えないた  
めの繊細な修復を行いました。ピアノ2  
台8手にフルート、そしてダンスも加わ  
る見ても聴いても楽しいミニコンサート  
で、ぜひ「木のホール」の音響をご体感く  
ださい。

音楽堂の音響と建築を一度に楽しめる  
1日。0歳から入場可、入場無料です。  
大人も、小さいお子さんも、お散歩気分  
でお越しください。

音楽堂ヴィルトゥオーゾ・シリーズ23  
**中丸三千繪 ソプラノ・リサイタル**  
 2019年6月29日(土) 15:00 神奈川県立音楽堂

出演:中丸三千繪(ソプラノ) 安達朋博(ピアノ)  
 [クローチアの歌曲]  
 ボジタル・クンツ:恋人の面影  
 [イタリア近代歌曲]  
 フランコ・アルファーノ:もし、あなたが黙れば  
 アルフレード・カラターニ:口づけなしに  
 [オペラの名曲]  
 ドヴォルザーク:オペラ『ルサルカ』より「月に寄せる歌」  
 プッチーニ:  
 オペラ『ジャンニ・スキッキ』より「私のお父さん」 他  
 全席指定 一般6000円 シルバー(65歳以上) 売切  
 学生(24歳以下)3000円 \*車椅子席有(付添1名無料)  
 ●シャトルバスの運行あり、詳細はHPをご覧ください。  
 ◎音楽堂ヴィルトゥオーゾ・シリーズ  
 4公演セット券:20000円 好評発売中!



中丸三千繪



安達朋博



音楽堂ヴィルトゥオーゾ・シリーズ23  
**中丸三千繪**  
**ソプラノ・リサイタル**

神奈川県立音楽堂

世界のプリマドンナ、  
 中丸三千繪が聴かせるうたの境地

日本が世界に誇るソプラノ中丸三千繪が、いよいよ神奈川県立音楽堂に初登場します。デビュー以来「ルチアーノ・パヴァロッティ・コンクール」優勝、「マリア・カラス・コンクール」にイタリア人以外で初めて優勝と快進撃を続け、オペラ、リサイタル、オーケストラとの協演と、幅広く活躍する中丸三千繪。今回のリサイタルは音楽堂のために組まれた特別プログラムです。中丸の第二の故郷でありオペラ発祥の地であるイタリアと、

海をはさんで対岸の「アドリア海の寶石」と呼ばれる美しい東欧の国クローチア。この二つの国の知られざる近代歌曲、そしてチェコの巨匠ドヴォルザークの名作『ルサルカ』のリアアなどで、歌の物語を鮮やかに紡ぎ出します。タッグを組むのは、現在注目株の若手ピアニスト・安達朋博。世界の大使館で活躍してきた歌姫が描く深く心に響く美の世界、新しい表現の境地をじっくりとお楽しみください。

〔関連企画〕街なかトークカフェ 第1回目「歌とオペラを楽しむノウハウ」

2019年5月25日(土) 14:00 ~ 15:30 (受付開始13:30)

音楽堂ヴィルトゥオーゾ・シリーズを100倍楽しむために…。公演に先立ち「街なかトークカフェ」を開催。第1回目は、オペラ、リアアの魅力に迫ります。

講師:朝岡 聡(コンサート・ソムリエ/フリーアナウンサー)

ナビゲーター:田中 泰(日本クラシックソムリエ協会理事)

定員:50名

料金:2000円(ワンドリンク付き/税込)

会場:伊勢山ヒルズ ヴェネチア グランデ邸

(横浜市西区宮崎町58-3 /

紅葉坂上、青少年センター向い側)

申込締切:2019年5月23日(木) \*先着順

tel. 045-263-2567 fax 045-243-6216

※音楽堂HPより「応募フォーム」で申込



田中 泰



朝岡 聡



三浦友理枝

©Yuji Hori



三ツ橋敬子

©大杉隼平



2017年公演より  
 舞台上で聴いてみよう



2017年公演より  
 楽器体験コーナー  
 上下とも ©青柳聡



2017年公演より 指揮者体験 ©青柳聡



## 三ツ橋敬子の夏休みオーケストラ! みんなでピカピカ☆編

神奈川県立音楽堂

見て、聴いて、感じて。夏休みだけのオーケストラ体験!  
 神奈川フィルハーモニー管弦楽団と共に贈る子どものためのオーケストラ・コンサート!

### 三ツ橋敬子の夏休みオーケストラ! みんなでピカピカ☆編

2019年8月17日(土) 15:00 神奈川県立音楽堂

出演:三ツ橋敬子(指揮) 三浦友理枝(ピアノ)  
 辻 博之(合唱指導) 鹿野浩史(合唱ファシリテーター)  
 ヤマト万歳(和太鼓・ボディパーカッション)  
 神奈川フィルハーモニー管弦楽団

#### [プログラム]

シャルパンティエ:テ・デウム  
 グリーグ:組曲『ペール・ギュント』より「朝」  
 ショパン:アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ  
 ヒナステラ:  
 パレエ音楽『エスタンシア』より「終幕の踊り(マランボ)」  
 モーツァルト:アイネ・クライネ・ナハトムジーク  
 ムソルグスキー=ラヴェル:  
 組曲『展覧会の絵』より「キエフの大門」  
 エルガー:行進曲「威風堂々」より～合唱付  
 全席指定 5歳～中学生 入場無料 学生(高校生～24歳)1500円  
 一般3500円 \*車椅子席有(付添1名無料)

#### [関連企画]

要事前申込、詳細はHPに掲載

- 音楽堂ジュニア・スタッフ養成講座
- 音楽ワークショップ  
 「わっしょい! 夏こそ、和の音!和のリズム!  
 ～和太鼓とボディパーカッションを同時に楽しもう～」
- 三ツ橋マエストロのオーケストラ大解剖! ～「展覧会の絵」を楽曲分析
- 音楽堂バックステージ・ツアー & ミニ・コンサート(ピアノ:三浦友理枝)
- 音楽ワークショップ「絵?音もだち?～みんなのひらめきが歌になるよ」
- 指揮者体験!

●シャトルバスの運行あり、詳細はHPをご覧ください。

神奈川県立音楽堂が三ツ橋敬子さんと神奈川フィルハーモニー管弦楽団と共に贈る大人気企画「三ツ橋敬子の夏休みオーケストラ!」が、改修工事を終えてピカピカ☆になった音楽堂に戻ってきました。

今年のゲストは、三ツ橋敬子さんの幼馴染でもあるピアニストの三浦友理枝さん。ショパンの世界を深い洞察力による解釈、確かなテクニックで鮮やかに描きます。二人の息のあった演奏をお楽しみください。

音楽体験企画では、オーケストラがもっと身近になるプログラムが今年も揃いました。初めて会うお友だちや楽しい

講師の先生たちと一緒に、音楽をもっと好きになる仕掛けがもりだくさん。コンサートでは、舞台上上がって迫力たっぷり、一緒に曲に参加するコーナーもあります。

今年から、来年ピカピカ☆の一年生になる5歳から中学生まで入場無料! 聴くだけでなく、身体全体を使って音楽を楽しく体験しましょう。

今年の夏休みは、素敵な音楽の世界に飛び込んでみませんか。



左右とも：2018年6月 神奈川県民ホール公演より ©増田雄介



FOCUS

## みんなでたのしむオペラ「ヘンゼルとグレーテル」

日本語・ピアノ版上演

神奈川県民ホール巡回事業

### 名作オペラのスペシャル版、待望の県内出張公演!

昨年6月、神奈川県民ホールのリニューアルオープン記念で上演し好評を博した、みんなでたのしむオペラ「ヘンゼルとグレーテル」を今年も南足柄市文化会館と秦野市文化会館で開催します。

美しく親しみやすい音楽でつづられたドイツのメルヘン・オペラ「ヘンゼルとグレーテル」を、演出家の田尾下哲とバリトン歌手の宮本益光が約1時間のスペシャル版に再構成した本作品。宮本益光が書き下ろした日本語の訳詞と台本により、オペラ「ヘンゼルとグレーテル」の魅

力がぎゅっと詰まったスペシャル版「すべての子どもたち大人たちに贈る愛の物語」をピアノ伴奏で上演します。ヘンゼル役は、ヒロイン役からズボン役まで幅広く活躍中の青木エマ。グレーテル役は豊かな表現力と確かな音楽性で観客を魅了する鶴木絵里。ママとお菓子の魔女を一人二役で演じるのは、クラシックからポップスまで多方面で活躍しているソプラニスタ岡本知高。パパ役には本作品の訳詞・台本・構成も手がけ、演奏だけでなく多彩な才能を発揮している宮本益光といった日本を代表する歌手陣でお贈りします。

子どもからお年寄りまで、すべての人にお楽しみいただけること間違いなし! 初めてのオペラ鑑賞にもぴったりです。ぜひご家族そろってお越しください。

2019年8月4日(日) 15:00 (約1時間・休憩なし)  
南足柄市文化会館 (大ホール)  
2019年8月10日(土) 15:00 (約1時間・休憩なし)  
秦野市文化会館 (小ホール)  
作曲:E.フンパーディンク  
訳詞・台本・構成:宮本益光  
構成・演出:田尾下哲  
ヘンゼル:青木エマ  
グレーテル:鶴木絵里  
ママ・お菓子の魔女:岡本知高  
パパ:宮本益光  
ピアノ:平川寿乃 高田恵子  
全席指定 一般1500円

## 横浜バレエフェスティバル2019

神奈川県民ホール



高田茜、小池ミモザ、平田桃子、そして神奈川県出身の菅井円加、前田紗江など、5周年にふさわしい豪華ダンサーがこの夏も横浜に集結! クラシックバレエの定番から最新のコンテンポラリーダンスまで、バラエティに富んだプログラムをお届けします。『出演者オーディション』第1位・第2位入賞者をはじめ、これまでのオーディション選抜者からなる10代の若手ユニット「ジュンヌバレエ YOKOHAMA」など、次世代を担うダンサーによるパフォーマンスもお見逃しなく!

2019年8月3日(土) 15:00 (大ホール)  
芸術監督:遠藤康行  
出演:高田茜 菅井円加 小池ミモザ 平田桃子 津川友利江 厚地康雄 二山治雄  
遠藤康行 加藤三希央 エドワール・ユ 柳本雅寛 前田紗江 中尾太亮  
井関エレナ 横浜バレエフェスティバル2019オーディション第1位(神奈川県民ホール賞)  
第2位選出者 ジュンヌバレエYOKOHAMA  
S(指定席)11880円(当日12000円) A(指定席)9720円(当日10000円)  
B(3階自由席)大人3240円(当日4000円) こども(4歳以上中学生まで)2000円(当日2000円)  
神奈川県民シート(指定席・神奈川県在住・在勤の方のみ購入可・前売のみ) S 8640円 A 6480円  
ソイブランニング 045-434-0555

2019年7月13日(土) 15:00 〈小ホール〉  
 出演:三浦はつみ  
 坂本日菜:7つの贈り物  
 F.コレア・デ・アラウホ:  
 2つのソプラノソロを持つ第7旋法のティエント  
 F.コレア・デ・アラウホ:第4旋法によるティエント  
 O.メシアン:「ペンテコステのミサ」より コミュニオン「鳥と泉」  
 C.フランク:コラール第3番 イ短調  
 坂本日菜:九品来迎図Ⅳ(神奈川県民ホール委嘱作品・初演)  
 J.S.バッハ:コラール前奏曲「来たれ創造主なる聖霊の神」 BWV667  
 J.S.バッハ:コラール前奏曲「いと高き神にのみ栄光あれ」 BWV662  
 J.S.バッハ:前奏曲とフーガ 変ホ長調 BWV552  
 全席指定 一般3000円 ペア(一般)5500円  
 学生(24歳以下・枚数限定)2000円



©Hiroshi Togo

## 三浦はつみ オルガン リサイタル

時を超えて一天への扉

神奈川県民ホール

生命力溢れる音楽を紡ぐ、  
三浦はつみのオルガンマジック!



三浦はつみ

©Takashi Arai

神奈川県民ホールには、1975年、開館にあわせて日本の公共ホールで初めて設置されたドイツ・クライス社製のオルガンがあります。オルガンと客席の距離が近く、間近でオルガニストの演奏を楽しむことができるのが最大の魅力です。7月13日には横浜みなとみらいホールで1998年の開館以来ホールオルガニストを務める三浦はつみが「時を超えて一天への扉」と題したリサイタルを行います。プログラムにはバッハの「前奏曲とフーガ 変ホ長調 BWV552」やコラール作品、フランクの「コラール第3番 イ短調」など、オルガン音楽史上でもひととき輝く傑作の数々が並びます。また彼女が全幅の信頼を寄せる作曲家・坂本日菜がこのリサイタルのために作曲する新作「九品来迎図(かつて平等院鳳凰堂の扉絵だったことで有名)も初演されます。ひとつひとつの音に命を吹き込むような彼女の演奏は、まさに音楽の魔法。三浦はつみが奏でる天上の音楽を、ぜひご堪能ください。

## 第55回 神奈川県美術展 作品募集

神奈川県民ホール



神奈川県美術展は、昭和40年から毎年開催される県下最大規模の公募美術展。募集部門は4部門(平面立体/工芸/書/写真)、大賞は最大で200万円! 年齢・国籍を問わず全国どなたでもご応募できます。(応募要項はHPよりダウンロード可)

応募作品搬入日 〈ギャラリー〉  
 2019年7月6日(土)・7日(日) 10:00~16:00

展覧会 〈ギャラリー〉  
 1期展 平面立体  
 2019年9月4日(水)~9月15日(日)  
 2期展 工芸・書・写真  
 2019年9月18日(水)~9月29日(日)  
[www.kanangallery.com](http://www.kanangallery.com)



川瀬賢太郎

©Yoshinori Kurosawa

## 神奈川フィルハーモニー管弦楽団 県民ホール名曲シリーズ第6回 「ロシア」 ~ 3大バレエの1つ クラシックバレエの傑作~

神奈川県民ホール



チャイコフスキーの魅力がふんだんにまつたバレエ音楽「くるみ割り人形」。イタリアで生まれフランスで発展したバレエが、なぜ「ロシア」で隆盛をしたのか。その答えの一つが、チャイコフスキーの音楽の魅力であることに、異を唱える方は少ないのではないのでしょうか? 川瀬賢太郎が「組曲ではなく全曲聴いてほしい」というわけを、会場で体験してください。

2019年6月15日(土) 15:00 〈大ホール〉  
 出演:川瀬賢太郎(指揮)  
 横浜少年少女合唱団(児童合唱)  
 神奈川フィルハーモニー管弦楽団  
 チャイコフスキー:  
 バレエ音楽「くるみ割り人形」Op.71  
 全席指定  
 S 6000円 A 4500円 B 3000円  
 ユース(25歳以下)当日1000円  
 シニア(70歳以上)各席種10%引  
 神奈川芸術協会 045-453-5080



## ボローニャ歌劇場「セヴィリアの理髪師」

神奈川県民ホール

オペラの本場イタリアで1763年に開場し、かつてはロッシーニもチェンバロ奏者として活躍するなど、現在にいたるまで「イタリア・オペラの精髓を伝える」と評価される由緒正しい名門劇場。ボローニャ歌劇場の実に8年振りの来日が実現！今も中世の面影を色濃く残しユネスコに「音楽創造都市」と認定される美しき街、ボローニャの誇る至高の劇場が、輝かしい音色と縦横無尽の表現力でイタリアでも3本の指に入るとされるオーケストラ、そして厳選された歌手を伴い、劇場とも深い縁を持つロッシーニの名作オペラを披露いたします。



2019年6月22日(土) 15:00 (大ホール)  
 ロッシーニ「セヴィリアの理髪師」全2幕(原語上演・日本語字幕付き)  
 演出:フェデリコ・グラツィーニ  
 指揮:フェデリコ・サンティ  
 アルマヴィーヴァ伯爵:アントニーノ・シラグーザ  
 フィガロ:ロベルト・デ・カンディア  
 ロジーナ:セレーナ・マルフィ  
 合唱:ボローニャ歌劇場合唱団 管弦楽:ボローニャ歌劇場管弦楽団  
 全席指定 S 31000円 A 26000円 B 21000円 C、D席売切  
 神奈川芸術協会 045-453-5080

FOCUS

2019年7月5日(金) 19:00・6日(土) 14:00 (大ホール)  
 「シュート・ザ・ムーン」 振付:ソル・レオン ポール・ライトフット 音楽:フィリップ・グラス  
 「シンギュリア・オデッセイ」 振付:ソル・レオン ポール・ライトフット 音楽:マックス・リヒター  
 「ザ・ステイトメント」 振付:クリスタル・バイト 音楽:オーエン・ペルトン  
 「ウォーク・アップ・ブラインド」 振付:マルコ・ゲッケ 音楽:ジェフ・バックリイ  
 全席指定 S 12000円 A 9000円(U25 4500円) B 6000円(U25 3000円) C 4000円(U25 2500円)  
 神奈川芸術協会 045-453-5080

## NDT(ネザールランド・ダンス・シアター) 来日公演

神奈川県民ホール

才能豊かな気鋭振付家と世界中から集まった選りすぐりのダンサーたちによる共同制作によって、年間10あまりの新作バレエを発表し、国内外で上演を続けているNDT(ネザールランド・ダンス・シアター)。そのNDTが13年ぶりの来日公演に選んだのは、彼らの魅力を余すことなく知ることのできる多様な作品群。今最も注目度の高い人気振付家でNDTのアソシエイト・コレオグラファーのクリスタル・バイトとマルコ・ゲッケ、そしてNDTの芸術監督であり専任振付家のポール・ライトフットとソル・レオンによる豪華4作品を、一挙同時上演します。



「Shoot the Moon」シュート・ザ・ムーン

©Rahi Rezvani

## キエフ・クラシック・バレエ チャイコフスキー夢の3大バレエ

神奈川県民ホール

「くるみ割り人形」の優雅な花のワルツに、「白鳥の湖」の儚く美しい湖畔のシーン、そして「眠れる森の美女」のきらびやかな宴などなど……バレエ界に燦然と輝く名作のいいところどりの名場面集を、海外のバレエ団でリーズナブルに楽しめる人気のガラ公演が今年の夏も開催！バレエといえどこれ！という名シーンの数々を才気あふれる厳選された若手ダンサーたちが華やかに魅せます。バレエ・ファンの方はもちろんバレエ初心者の方にもうつつけ、また4歳以上のお子さまからご入場いただけるため夏休みの素敵な思い出作りにもぴったりの公演です。



2019年8月20日(火) 14:00  
 (大ホール)  
 チャイコフスキー:  
 「くるみ割り人形」「白鳥の湖」  
 「眠れる森の美女」より  
 名場面集  
 ※演奏は特別録音音源を使用  
 全席指定4500円  
 ※4歳から入場可  
 神奈川芸術協会 045-453-5080



## 共生共創事業



神奈川県では、県の重点施策である「共生社会の実現」「未病」などの取組とマグネット・カルチャー（マグカル）をクロスさせ、誰もが参加できる舞台公演などの事業「共生共創事業」を、みなとみらいの「県民共済みらいホール」を拠点として実施しています。

### かながわ高齢者創作創造プロジェクト「チャレンジ・オブ・ザ・シルバー」始動！



神奈川県は、いよいよこのプロジェクトが始動します。

今年度は、いよいよこのプロジェクトが「チャレンジ・オブ・ザ・シルバー」の二つの柱「チャレンジ・オブ・ザ・シルバー」は、共生共創事業で取り組む、シニア世代の表現者集団です。昨年からの取り組みをさらに発展させ、神奈川県オリジナルの、高齢者による表現者集団が立ち上がります。

神奈川出身で、ザ・フー・サイス・カンパニー等で世界的に活躍してきたダンサー／振付家の安藤洋子を中心となり、「シニア・ダンス・カンパニー」の出張ダンスワークショップの二つの柱を軸に活動します。

対象となるのは、神奈川県内在住の60歳以上の全ての方。定年で仕事を終えた方や、子育てを終えた方々が、自身と向き合い、身体表現に挑戦する。それは、「未病改善や健康の維持に結びつくだけでなく、新しい私たちのコミュニティを生み出し、舞台芸術の世界に対しても新たな表現の可能性をもたらすことができると考えています。

■シニア・ダンス・カンパニー

横浜を拠点としたダンス・カンパニーを結成します。参加者は、神奈川県内にお住いの60歳以上の方から広く公募します。オーディションで10人程度のメンバーを選出、秋から本格的なリハーサルを開始し、年度末の成果発表会を目指します。

「シニア・ダンス・カンパニー」 年間スケジュール(予定)	
5月末	公募開始
6月末	公募締切
7月	オーディション
8月	選考結果発表
9月～2月	リハーサル・クリエーションをスタート
2020年3月	成果発表(県民共済みらいホールにて)

チャレンジ・オブ・ザ・シルバー  
おためしワークショップ  
2019年6月7日(金) 13:30-15:30  
神奈川県立青少年センター 3階 練習室  
対象：神奈川県内在住の60歳以上の方  
参加費：無料(要事前申込)  
お問合せ・お申込：メール kyoso@kanagawa-af.org  
tel. 045-306-6811

「共生共創事業」は、本年度も引き続き「県民共済みらいホール」を拠点とし、「共生社会の実現」「未病」「多文化・多世代共生」をテーマとした多彩なプログラムを展開していきます。

年間のスケジュール・詳細は、共生共創事業HP等で随時お知らせいたします。是非ご期待ください。

■出張ダンスワークショップ

参加してみたいけれど横浜までは遠いという方へ向けて、県内数か所でも「出張ダンスワークショップ」を開催します。今年度は夏以降から随時開催していく予定です。

まずは「おためしワークショップ」で体験を！

「チャレンジ・オブ・ザ・シルバー」に興味がある、話を聞いてみたい、参加したいが実際にどんなことをやるか知りたい、という方は「おためしワークショップ」にご参加してみたいかがでしょうか？ どんな人たちが集まり、どんなことをやるのか、ご自分で一度体験してみただで「シニア・ダンス・カンパニー」への参加をご検討いただけるチャンスです。

今年度の共生共創事業



舞台上のブロンプターボックスから歌手に合図を出す

## 音楽の小箱

# オペラ制作の人々

知れば、  
知るほど、  
好きになる

歌劇場の上演予定には新制作と記載された演目があります。その演目のほとんどは新作オペラではなく過去の古典作品。新制作とは、演出家が新たに演出する舞台のことです。

新制作では、歌手の演技、舞台美術や衣装などを演出家の構想の下、舞台美術家・照明家・衣装デザイナーらが集結し制作します。上演後は劇場のレパトリーとしてセットや衣装を保管し再演しますが、演出家は舞台に立ち合わず、新制作時の演出助手や劇場の座付き演出家などが再演するのが常。歌手や指揮者はたいいてい新制作時とは異なるため、彼らはもとの舞台を尊重しつつ音楽

家の演奏解釈の違いなどを考慮し細部を変更していきます。

リハーサルは歌手の音楽稽古から始まりますが、オーケストラではなくコレペティトゥアという練習ピアニストが入ります。ピアニストは伴奏はもちろん、音取りから歌詞の発音指導など歌手の作品理解を深める役割を担います。また、オーケストラの練習指揮をする副指揮者がコレペティトゥアとしてピアノを弾いたり、ピアニストに弾いてもらって歌手を指揮することもあります。実は、オペラの名指揮者の多くがこの仕事からキャリアを始めたのです。彼らは本番時、オーケストラ・ピットの指

揮者を補助して、セット・照明・字幕などの操作スタッフに、音楽と合わせるきっかけを出したり、ブロンプターボックス\*の小窓から歌手に歌詞や歌い出しの合図などを行ったりもします。指揮者は、こうした音楽スタッフの支えの下でオペラの音楽面の演出家として作品に対する自分の解釈を示し、歌手やオーケストラとともに音楽を創っていきます。

このように多くの人が関わる総合芸術、オペラの舞台の進行管理は舞台マネージャー監督に託されます。制作スタッフの名前は、公演プログラムに記載されています。目を通してみてください。

\*舞台中央の最前部の床下にある小さな空間のこと

## 楽器ミュージアム

# トロンボーン

西洋の多くの管楽器は年月を経ながら多くの改良を重ねています。しかし「トロンボーン」は古からの構造をそのまま留める珍しい金管楽器です。

15世紀頃、トランペットを改良する中で誕生したトロンボーンは、トランペットと同じく息を吹き込む「マウスピース」と管の反対側にある「ベル」に向かって広がる管を持っています。ですが、この楽器の最大の特徴は、この二つの部分の間にある「スライド管」(楽器を構えた時に前に突き出た部分)です。「スライド管」は2本の管をかぶせた外・内管の二重構造で、U字型の外管の内側に沿って内管を抜き差しして音の高さを変えます。最高音は最も手前の外管に内管全てを入れた位置、最低音は腕

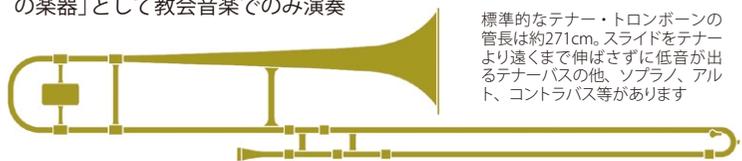
を伸ばしきった位置になります。

管の抜き差しというアナログな構造のおかげで、トロンボーンは他の金管楽器よりも音の高さを細かくとることが得意。しかも、音と音の間を途切れることなく連続して変えていくことができます。また、スライド管をすべらせながら吹くとユーモラスな効果音や動物の鳴き声のような音も出せます。

トロンボーンの音域は成人男性の声域に近く、また荘厳な和声(ハーモニー)を響かせられるため、18世紀には「神の楽器」として教会音楽でのみ演奏

されていましたが、ベートーヴェンが交響曲第5番「運命」(1808)で初めてトロンボーンを交響曲に用いて以降、管弦楽やオペラで大活躍。今日ではクラシック、吹奏楽、ジャズ、ポピュラーなどあらゆるジャンルで重宝されています。

実は、トロンボーンでも、ジャンルによって好まれる管の太さが異なります。クラシックでは大音量が出る太管を、ジャズでは細管を使うことが多いのだそう。そんな響きの違いにご注目。



標準的なテナー・トロンボーンの管長は約271cm。スライドをテナーより遠くまで伸ばさずに低音が出るテナーバスの他、ソプラノ、アルト、コントラバス等があります



イラスト：遠藤裕喜奈

## ジョアキーノ・ロッシーニ 「スターバト・マーテル」

オペラ「セヴィリアの理髪師」や「ラ・チェネントラ」などで知られるイタリアの作曲家ジョアキーノ・ロッシーニは、1792年、ホルン奏者の父ジョゼッペと歌手の母アンナの間に生まれました。

1810年、18歳のロッシーニは、2年の学業を残しポローニャの音楽院を中退します。同年、ヴェネチアのサン・モイゼ劇場でオペラ「結婚手形」を初演し、オペラ作曲家のキャリアをスタートさせるのです。その後ロッシーニは名作オペラを次々と発表。ヨーロッパ中に知れ渡る人気作曲家となります。母親想いの彼はその間も休むことなく故郷の母と手紙を交わし、収入の2/3を仕送りしていたといわれています。

1827年2月20日、最愛の母アンナがポローニャで亡くなります。この時ロッシーニはパリで次回作のオペラにとりかかっていた。3月26日初演後のカーテンコールの中、観客に頭を下げながら涙を流し「でも、あの人は死んでしまった」と呟いていたといえます。

1831年、ロッシーニはマドリードの助祭の依頼で、息

子イエスを失った聖母マリアの悲しみを歌う「スターバト・マーテル」\*を書き始めます。全体の約半分を一気に書き上げた後、突然残りを別の作曲家に任せてしまうのでした。1839年4月には、父ジョゼッペが亡くなります。両親を失ったロッシーニは他人に作曲させた部分を改めて自ら創り上げ、1841年9月、「スターバト・マーテル」を完成させるのです。

1842年3月、地元ポローニャでの初演の総練習に立ち会ったロッシーニは、感情の高まりに耐え切れず自宅に逃げ戻ります。その後、人々が彼の家の前に集まり、「ロッシーニ万歳」と叫び出しました。群衆の歓声に包まれ、ロッシーニは暗い部屋で、壁にかかった母の肖像画を見つめながら子どものように泣き続けていたといえます。

\*スターバト・マーテル：息子イエス・キリストが磔刑<sup>たがひ</sup>となった時の聖母マリアの悲しみを歌った中世の詩。ヴィヴァルディ、ベルゴレージ、ハイドン、ドヴォルザークなど、多くの作曲家が曲を付けている。

ジョアキーノ・ロッシーニ Gioachino Rossini (1792～1868)  
イタリアの作曲家。美食家としても知られ、37歳で作曲した「ウィリアム・テル」を最期にオペラ作曲の筆を折り、余生は料理の創作に費やした。

Creative Neighborhoods  
街と住まい

第6回

農のある「コミュニティとその暮らし

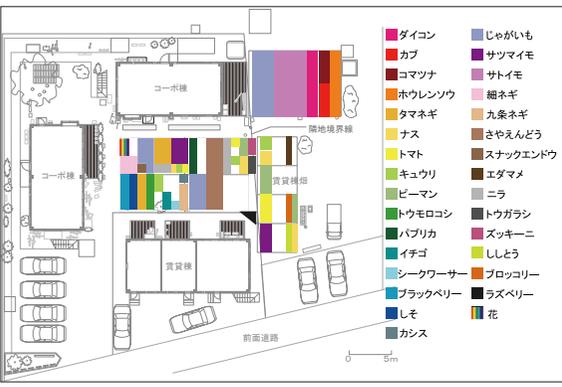
「さくらガーデン」

(設計・計画：近藤弘文・原久子 企画・マネジメント：人間性豊かな集住体研究会)

藤岡泰寛  
横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院・准教授(博士[工学])。1973年生まれ。専門は建築計画・住居計画。99年、京都大学大学院工学研究科環境地球工学専攻修了。横浜国立大学工学部建設学科・助手(～05)、同・講師(～10)を経て現職。茅ヶ崎市浜見平地区まちづくり協議会委員(～15)、横浜市/リアフリー検討協議会保土ヶ谷区部会長(17～)。



さくらガーデン全景



2007年6月ごろの菜園のようす

都市化に伴う人口流入に対応するために国策として進められてきた郊外開発と持ち家政策は、住む(獲る)ために純化されたベッドタウンを生み出し、労働と子育てに追われる暮らしをライフスタイルとしても強めてきた。しかし、現在、多くの郊外住宅地は疲弊し、持ち家は「負」動産化しはじめている。一方で、こうした郊外に近接した都市近郊農地では農家

高齡化や耕作放棄農地の拡大などの課題が深刻になりつつある。

横浜市南西端に位置する泉区に2002年に竣工した菜園付きコーポラティブ住宅「さくらガーデン」は、都市周縁部における新しい居住空間モデルとして大変示唆的であり、魅力的である。江戸時代から続く地主農家が受け継ぎ丹精込めて耕作してきた農地が、高齡化のため農業が続けられなくなったことを機に立ち上がったのがこのプロジェクトであった。全部で12世帯、約30人の小さなコミュニティではあるが、子育て世帯から高齡夫婦まで幅広い世代の居住者が隣り合っており、暮らししている。

さくらガーデンでは「菜園の会」という運営組織をつくっている。ここではトータル約300㎡の菜園を運営していくための基本的な取り決めがなされている。苗や肥料の共同購入、鳥・虫・雑草の共同対策、耕運機などの共同管理である。特に作付け期には、共同畑の作付け方針や具体的な作業分担等についてが中心的話題と

なる。この菜園の半分は隣地境界線をまたぎ、そのまま農家宅地に広がっている。地主農家との強い信頼関係の証左である。休日を中心にそれぞれが思い思いの菜園活動に勤しむが、いわゆる職業農家ではないので、栽培そのものが目的とはならない。育てた野菜を食べることはもちろん、育てる過程での日々の出来事を楽しむなど、判断基準はそれぞれだ。家族からのリクエストや個人的な嗜好もある。できれば隣の菜園とは違う種類の野菜を育ててみようかという意思も働く。結果的にバラエティ豊かな菜園がひとつの住風景として登場する。菜園は一人一人の生活が投影される場として、この街でどんなふうに暮らししていきたいかが映し出されている。この点で菜園は住宅の一部であると言って良い。また、住民たちが主催する食事会や石釜ピザパーティーなどのイベントが開催されるなど、隣り合った菜園が住民同士の「コミュニケーションの場」となっている。

都市近郊での農のある暮らしは、土地の有効活用という観点にとどまらず、血縁家族を超えた共同体を生み出し、ゆるやかに繋ぐ新しい可能性を持っている。

\* 都市計画300「特集都市継承期のコミュニティモデル」公益社団法人日本都市計画学会2013に部加筆

かながわ  
芸能  
歳時記

第19回

徳川幕府を生んだ仮面の神楽  
禰宜舞

(川崎市宮前区／白幡八幡大神／7月・9月)



天鈿女命の舞

WEB  
+a!

禰宜舞は、宮前区の白幡八幡大神で、7月と9月の第3日曜日、夏祭りと同大祭で年2回奉納されます。

この神楽は、慶長5年(1600)徳川家康が関ヶ原の戦いに出陣する際、戦勝を祈願して舞われたのが始まりといわれ、神主の小泉家により代々一子相伝で伝えられてきました。江戸初期には正月三日、江戸城に上り將軍の前で舞ったといわれ、市重要習俗技芸に指定されています。

舞はすべて一人舞で、締太鼓一つだけを伴奏に、歌・問答はありません。

まず、面を付けないで四方祓を舞い、続いて面と衣装、幣・剣・扇・弓矢などを舞に合わせ持ち替え、鈴を振って舞います。五つの面は、すべて川崎市文化財です。

猿田彦命・天鈿女命・天兒屋根命・彦火火出見命・大山祇命の5人の神々に扮して舞います。最後に参拝者に餅・団子をまいて歓声の中で終わります。

住所：神奈川県川崎市宮前区平4-6-1 白幡八幡大社  
交通：東急田園都市線「宮前平」駅から市営バス溝15系統「溝口駅」行き「白幡八幡前」下車 徒歩5分  
日程：7月第3日曜日、9月第3日曜日の年2回  
お問合せ：川崎市教育委員会事務局生涯学習部文化財課 044-200-3305

協 力：禰宜舞保存会  
川崎市教育委員会事務局生涯学習部文化財課  
写真提供：川崎市教育委員会事務局生涯学習部文化財課

●同時期(6、7月開催)その他の祭り  
鹿島踊り(真鶴町)／豊船神社・お仮殿／7月27・28日  
田村ばやし(平塚市田村)／八坂神社／7月27・28日

more! カナガワ

神奈川フィルハーモニー管弦楽団  
定期演奏会音楽堂シリーズ第13回

2019年7月6日(土) 15:00 神奈川県立音楽堂  
指揮：鈴木秀美 プリテン/シンプルシンフォニー  
シンデミット/組曲「気高き幻想」 モーツァルト/交響曲第38番「プラハ」  
全席指定 S 4000円 A 2500円 B 1500円  
ユース(25歳以下)当日各席種1000円 シニア(70歳以上)各席種10%引  
神奈川フィル・チケットサービス 045-226-5107 (平日10:00-18:00)  
www.kanaphil.or.jp/ @kanagawaphil @instagram.com/kanagawaphil

神奈川近代文学館  
企画展「没後20年 江藤淳展」

2019年5月18日(土)～7月15日(月・祝)  
開館時間：9:30-17:00(入館は16:30まで) 休館日：月曜日(7/15は開館)  
『漱石とその時代』などの評論で戦後文芸批評の第一人者として活躍した江藤淳(1932～1999)。「夏目漱石論」草稿、江藤あて諸家書簡など、江藤の遺族から寄贈された貴重資料を中心に、江藤の生涯と業績を振り返る。  
観覧料：一般400円 TEL.045-622-6666 www.kanabun.or.jp

神奈川県立近代美術館 葉山  
コレクション展「彫刻のある風景」

2019年4月6日(土)～6月23日(日)  
開館時間：9:30-17:00(入館は16:30まで) 休館日：月曜日(4/29、5/6は開館)  
観覧料：一般250円 20歳未満・学生150円 65歳以上と高校生100円  
無料開館日：5月18日(土)の「国際博物館の日」は、開催中の展覧会を無料でご覧いただけます。  
TEL.046-875-2800 www.moma.pref.kanagawa.jp/

神奈川県文化課  
マグカルシアター

マグカルシアターは、演劇やダンスなどのライブパフォーマンスを創造する若者を支援する神奈川県の取組みです。  
平成31年3月にリニューアルオープンしたスタジオHIKARI(県立青少年センター内)では、そんな若者たちの公演を随時上演しています。熱気あふれる舞台をぜひ見に来てください。  
公演日程・料金等、詳しくは「マグカルシアター」で検索してください。  
TEL.045-263-4475(神奈川県文化課紅葉ヶ丘駐在事務所)

# REVIEW

## 一柳 慧×白井 晃 神奈川芸術文化財団芸術監督プロジェクト Memory of Zero

2019年3月9日(土)・10日(日) 神奈川県民ホール〈大ホール〉

構成・演出:白井 晃 音楽監修・ピアノ:一柳 慧 振付:遠藤康行

ダンス:小池ミモザ 鳥居かほり 高岸直樹 引間文佳 遠藤康行 他 指揮:板倉康明 演奏:東京シンフォニエッタ



©Hidemi Seto

神奈川芸術文化財団の二人の芸術監督、一柳慧と白井晃がジャンルを超えた芸術表現を追究した本公演。神奈川県民ホール大ホールの舞台上に客席が生まれ、観客が通常とは反対方向から舞台を眺める独特の空間で上演されました。音楽は一柳慧の作品を中心に構成。第1部「身体の記憶」では、若いダンサーが縦横無尽に動き回り、脈々と受け継がれる身体のポキャブラリーを表現しました。ポール・オースター原作の第2部「最後の物たちの国」では、一柳が3・11後に書いた「交響曲第8番」が演奏され、何もかもが破滅へと向かうディストピア的な世界が描かれました。白井晃が語り、一柳が自作「厳肅なワルツ」を演奏し、小池ミモザ演じる主人公のアンナが明日への一歩を踏み出そうとするラストシーン。客席奥の1枚の扉が開き、横浜港に面したロビーからの光が差し込むと、会場は温かな拍手に包まれました。

### お客様の声

演出、迫力、そしてダンス。人と人が絡み合い力の均衡が崩れ、保たれ、目が離せませんでした。(50代女性)

今まで見たことのない素晴らしい何かだった。(60代男性)

涙が出ました。迫力がありました。(30代女性)

音楽と舞踊ががっつき組み合いとてもよかったです。(40代女性)

「最後の物たちの国」はダンスと音楽と演劇のそれぞれがパワーを持ち何百倍も魅力的。ホントに観れて良かった!! と心から思える舞台でした。(40代女性)

### 公益財団法人神奈川芸術文化財団をご支援いただいている方々

公益財団法人神奈川芸術文化財団では、賛助会員制度を始めとしたさまざまなご支援の仕組みを通じて、広く皆さまからご寄附・お力添えをいただいております。

#### 公益財団法人神奈川芸術文化財団 賛助会員

法人賛助会員 株式会社アクトエンジニアリング/アサヒビル株式会社/アズビル株式会社/学校法人岩崎学園/株式会社ヴォートル/株式会社エス・シー・アライアンス/株式会社NHKアート株式会社勝烈庵/一般財団法人神奈川県教育福祉振興会/公益財団法人神奈川県結核予防会/神奈川県信用保証協会/株式会社神奈川孔文社/株式会社神奈川保健事業社神谷コーポレーション株式会社/川崎北ロータリークラブ/川本工業株式会社/かをり商事株式会社/株式会社共栄社/株式会社ケイエスピー/株式会社KSP/株式会社合同通信コトブキシーティング株式会社/株式会社シグマコミュニケーションズ/株式会社ジェイコムイースト横浜テレビ局/株式会社清光社/月島機械株式会社/株式会社テレビ神奈川東工株式会社/ナイス株式会社/株式会社日建設計/日産自動車株式会社/日生商工株式会社/日総ブレイン株式会社/株式会社野毛印刷社/パナソニックESエンジニアリング株式会社平安堂薬局/株式会社ホテル、ニュウグランド/一般社団法人本牧関連産業振興協会/丸茂電機株式会社/森平舞台機構株式会社/ヤマハサウンドシステム株式会社株式会社有隣堂/株式会社豊商會/株式会社ユニコーン/株式会社横浜アーチスト/横浜新都市センター株式会社/横浜信用金庫/弁護士法人横浜パートナー法律事務所横浜ビルシステム株式会社/株式会社ワイヤーソリューションズ(匿名:2社)

永年個人賛助会員 川村恒明 個人賛助会員 味田健一/岩間良孝/岡田博子/黒瀬博晴/小山明枝/高岡俊之/中澤守正/橋本尚子/藤原靖也/三宅浩二/渡邊政彦(匿名:2名)

#### 協賛・協力

能舞台協賛 ナイス株式会社

協力 神奈川総合設備株式会社/神奈川トヨタ自動車株式会社/崎陽軒/株式会社野毛印刷社/株式会社富士住建/三菱地所株式会社

(敬称略 2019年4月18日現在)

ご寄附・ご協賛・ご協力のお申込み・お問合せ: 本部経営企画課 045-633-3760 [www.kanagawa-arts.or.jp/support/](http://www.kanagawa-arts.or.jp/support/)



神奈川県では、文化芸術の魅力で人を引きつけ、地域のにぎわいをつくり出す、マグネット・カルチャー略して「マグカル」の取組を推進しています。

マグカルQ

人生的一幕を、観に行こう。

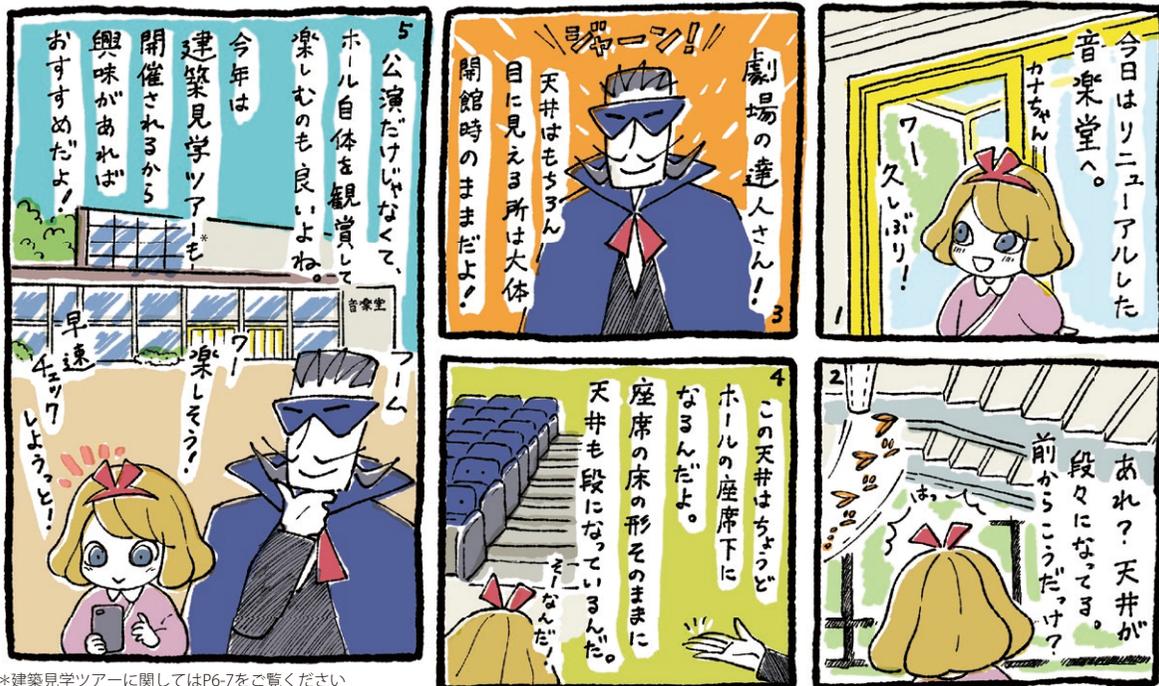
神奈川文化プログラム



# 劇場の達人

ホール自体が「アート」です

え・ユキナ



\*建築見学ツアーに関してはP6-7をご覧ください

**Kame** かながわメンバーズ 登録無料!  
KANAGAWA members メルマガ無料配信  
 チケットの先行予約が可能  
 登録はWEBで! [www.kanagawa-arts.or.jp/kame](http://www.kanagawa-arts.or.jp/kame)

神奈川芸術プレスはここにあります。  
 神奈川県内の主な公共施設の情報コーナー、首都圏の公共ホール・公立図書館・博物館・書店・銀行等に配架しております。  
 WEBでも読めます! [www.artspress.jp](http://www.artspress.jp)

MAGCUL 神奈川県発、文化発信ポータルサイト  
 MAGCUL マグカル ドット ネット  
[www.MAGCUL.NET](http://www.magcul.net)

## ご支援のお願い



皆様のご支援が、  
神奈川の文化と芸術を支える糧となります。

公益財団法人 神奈川芸術文化財団は、神奈川県民ホール、KAAT 神奈川芸術劇場、神奈川県立音楽堂を運営し、音楽・演劇・オペラ・ミュージカル・ダンス・伝統芸能の公演、美術展などの幅広いプログラムをお届けしています。これからも神奈川県内の文化・芸術を振興するとともに、神奈川から文化の発信を行なってまいります。皆様のおたかご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

**賛助会員**  
(法人・個人)

年間を通じて財団の事業全般にご賛助。

**個別協賛**  
(法人・個人)

特定の公演等に対してご協賛。

**広告スポンサー**

主催公演のチラシや当日プログラム、「神奈川芸術プレス」などへの広告。

**団体鑑賞**

主催公演のチケットを福利厚生・販売促進等ツールとして。

弊財団への賛助会費(寄附金)には、税制上の優遇措置があります。

詳細・お申込み・お問合せ | 公益財団法人神奈川芸術文化財団 本部経営企画課 〒231-0023 横浜市中区山下町23 日土地山下町ビル6階  
 電話: 045(633)3760 FAX: 045(663)3714 [www.kanagawa-arts.or.jp/support/](http://www.kanagawa-arts.or.jp/support/)

撮影: 本多康司

編集後記

音楽堂がいよいよリニューアルオープン! 建築見学ツアーは年数回開催されますので是非ご参加ください。(お龜) 小さなお子さま連れでも気兼ねなく観ていただけるプログラムがたくさん! ぜひご家族で越してください。(maru) 体験しなければ始まらない。豊富なプログラムを揃えてお待ちしております。(倉)